

事業所名

第二ちとせくらぶ（放課後等デイサービス）支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

1 日

法人（事業所）理念		一人ひとり違った個性を持ち、生活を送っている子どもたち。様々な要因から悩みを抱えている子どもたちに対し、その子の能力・学力に応じた療育・学習支援を行います。年齢に関係なく友だちづくりをしコミュニケーション支援を行い、一緒に遊べる居場所づくりを行います。		
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健やかに、自信を持って社会の中でたくましく生きていけるようにサポートする 子ども一人一人の障害の状態や発達過程・特性に応じた発達上の課題に応じて、「発達支援（本人支援・移行支援）」「家族支援」「地域支援」を総合的に提供する 		
営業時間		月～土曜日） 9時～17時 日曜、祝日） 8時～14時	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握：子どもの体調管理（検温・視診等） 基本的な生活スキルの獲得：活動時の自己選択や自己決定、トラブル時の解決、情動のコントロール（ストレスへの対処法）の支援 生活リズムや生活習慣の形成：日中の身体活動を促すことでの睡眠リズムの確立、トイレの使用に関する自立、手洗いなどの衛生管理、感染症予防の習慣化 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 感覚特性に考慮した上での活用：様々な感触に触れて、感覚の調整を促す、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をおこなう 姿勢と運動・動作の向上：感覚統合遊び（ボルダリング、サーキット、トランポリン等）を通して周囲の環境に合わせた姿勢、運動ができるように促す また、そのための基礎となる柔軟な体づくりのための身体調和支援を実施する 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の発育と行動の習得：「見つめる」「微笑む」「話しかける」「触れる」「ほめる」を基本とした安定感ある環境の中で、子どもたちの認知発育を促す 感覚や認知の活用：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の受容および表出：「顔（目）を見る」「話を傾聴する」などを意識してもらい相手の話を聞く、理解する姿勢を育む また、自分の考えや感情を言葉や他の方法で伝えられるよう促す 相互作用によるコミュニケーション能力の獲得：小集団での運動療育、集団遊び、伝言ゲーム等コミュニケーション能力の向上のための支援をおこなう 		
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 他者との関わり（人間関係）の形成：子ども達が他者と信頼感を持てるように安心できる環境づくりを心がける 仲間づくりと集団への参加：集団のルールや手順を理解できるよう段階的に教え、集団活動への積極的な参加を促す 自己理解と行動の調整：自分の得意、不得意を理解できるよう、様々な活動の中で自ら適切な行動選択し調整する力を育む 		
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達状況や特性理解に向けた相談援助 保護者同士の交流の機会提供 子育ての困りごとへの相談援助 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 進路先や移行先への相談援助や情報提供 併用事業所や学校との情報共有や支援のすり合わせ
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業所との連携 学校、併用事業所との情報連携や調整、支援方法についての情報共有 防災を含めた関係機関との連携 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止、身体拘束等の研修への派遣や内部研修の実施 地域の学校、福祉機関等、社内外の研修に参加し情報の収集及びアップデートをおこなっています
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 買い物体験・調理実習・外出体験・外食体験・創作活動・誕生日会 等 季節の行事（お正月・豆まき・ひなまつり・ハロウィン・クリスマス） 		